

# 老 健

No.55  
2015.3

# さきたまたまより



## Contents

- ◆ 地域包括ケアシステムにおける老人保健施設のあり方と役割  
会長 小川郁男 ..... 2  
「永年勤続表彰」受賞者 ..... 3
- ◆ 第20回埼玉県介護老人保健施設大会 ... 4  
優秀演題 ..... 5
- ◆ 介護老人保健施設運営上の留意事項  
埼玉県福祉部福祉監査課 ..... 6
- ◆ いきいき施設紹介 ..... 8
- ◆ 災害に備える ..... 9
- ◆ 埼老健介護百人一首優秀歌 ..... 12

## 地域包括ケアシステムにおける

# 老人保健施設のあり方と役割

会員の皆さまには日頃よりご支援ご協力いただき、お陰さまで平成26年度事業も滞りなく終了することができました。誠にありがとうございます。

2025年を念頭において、昨年、「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」で、地域包括ケアシステムを定義しました。この法律の第2条は、「地域包括ケアシステムとは、地域の実情に応じて、高齢者が、可能な限り、住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制をいう」と規定しています。地域包括ケアシステムが法律上定義され、正に地域づくりがスタートを切りました。

このような観点から、昨年の診療報酬改定では、在宅復帰（病院から

施設・在宅への復帰）に重点が置かれました。これに先立ち在宅復帰率やベッド回転率などが一定以上の施設を手厚く評価する在宅強化型老健の基本サービス費や加算が、2012年度改定で創設されております。

2014年6月時点では、強化型が174施設、加算型が340施設と徐々に増えてはいるものの、全施設の約25%にとどまっており、この度の介護報酬改定ではさらに、在宅復帰支援機能を重点的に評価する方向が提示されました。

老人保健施設の在宅支援機能と看取り機能は相反せず両立し、在宅強化型老健施設ほど通所リハビリテーションやショートステイ、訪問リハビリテーションを多く手がけていることが立証されています。

また厚生労働省の「高齢者の地域におけるリハビリテーションの新たな在り方検討会」の提案を受け、「生活行為向上リハビリテーション

加算」の導入も組み入れられました。これまでも介護保険のリハビリテーションを「生活期のリハビリテーション」と位置付けていますが、身体機能の回復訓練に偏っており、自宅や地域で目標や役割を持って生活することを支援することを具体化するものです。家事など日常生活の「活動」や地域・社会での「参加」といった、国際生活機能分類（ICF）に基づいたリハビリテーションを目指すこととなります。

さらに現在認知症施策推進5か年計画が進められていますが、予備軍も含めて800万人と推計される認知症対策をさらに推進するため、安部首相が「認知症サミット」で策定の方針を表明した国家戦略（新オレンジプラン）は、厚生労働省のみならず政府一丸となって対策を組むという、国を挙げての施策として掲げられております。医療提供体制は、平成30年度からの第7次医療計画・

第7期介護保険事業計画に向けた地域医療構想（ビジョン）策定も議論されており、各地域における医療機能の分化・連携にも目を向けて取り組んでいく必要があります。

超高齢社会となり「治す医療」から「支える医療」と高齢者医療の体系化が図られており、高齢者介護に携わる老健スタッフには、新たな対応・レベルアップが求められています。四半世紀たつ介護老人保健施設は、家族や地域の人びと・機関と協力し、市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などとの連携を理念と役割で謳っています。私たちのミッションを果たすことが地域包括ケアシステムの構築であり、在宅生活を支える老人保健施設の役割です。

埼玉県介護老人保健施設協会も2025年を見据えて、皆さまとともに地域づくりに努めてまいりますので宜しくご支援お願いいたします。



公益社団法人  
埼玉県介護老人保健施設協会

会長 小川 郁男

## 平成26年度「公益社団法人埼玉県介護老人保健施設協会表彰」(永年勤続)受賞者

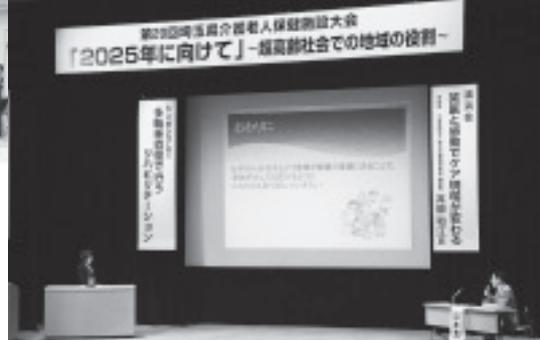
67名 五十音順(施設名)

施設名	氏名	施設名	氏名
彩の苑	江原 洋明	逍遙の郷	相馬 誠
彩の苑	福島 好江	しょうわ	大熊 豪
いこいの家	新井 昌美	しょうわ	根岸 舞
いこいの家	箕輪 大介	シルバーケア敬愛	横川 美紗子
いづみケアセンター	佐藤 和泉	シルバーケア敬愛	中澤 光江
いづみケアセンター	森田 恵美子	ちとせ	菊地 喜美代
岩槻ライトケア	高山 健太郎	ちとせ	荒川 富枝
岩槻ライトケア	岡崎 節子	鶴ヶ島ケアホーム	吉田 慶介
うらわの里	鮎島 育代	鶴ヶ島ケアホーム	河野 しのぶ
うらわの里	杉浦 康史	戸田市立介護老人保健施設	中村 幸利
エルサ上尾	佐々木 明美	戸田市立介護老人保健施設	佐藤 栄子
エルサ上尾	小川 美枝子	ナーシングホーム和光	島村 聡子
鶴寿の里ナーシングホーム	島村 国芳	虹の園	長谷川 とし枝
鶴寿の里ナーシングホーム	矢島 健	虹の園	小泉 富美子
かがやき	青山 敬	蓮田ナーシングホーム翔裕園	田中 美帆
かがやき	鶴田 昌子	蓮田ナーシングホーム翔裕園	山崎 幸子
カノープス・羽生	渡邊 浩子	はつらつ	鈴木 恵美
カノープス・羽生	井ノ山 敬子	はつらつ	玉城 智彦
かみさとナーシングホーム	森本 俊一	はなぶさ	条原 友明
かみさとナーシングホーム	角田 祥子	はなぶさ	岡 君栄
北埼玉ヘルスケアビレッジ	谷村 美保	飯能ケアセンター楠苑	大沢 敏子
北埼玉ヘルスケアビレッジ	羽鳥 みどり	飯能ケアセンター楠苑	山中 いづみ
ケアステーション所沢	野口 美重子	東松山市総合福祉エリア	鈴木 千景
ケアステーション所沢	沢山 美智代	東松山市総合福祉エリア	井口 雪子
ケア・ビレッジ シャローム	岩淵 雅樹	プルミエール	斉藤 静枝
ケア・ビレッジ シャローム	宇恵野 顕	プルミエール	古泉 直子
厚生会川口ケアセンター	富岡 真由美	本庄ナーシングホーム	新井 淳
厚生会川口ケアセンター	江原 健一	本庄ナーシングホーム	根岸 めぐみ
鴻巣フラワーパレス	星野 加代子	みどうの杜	鈴木 光明
鴻巣フラワーパレス	青木 淳子	みどうの杜	高橋 正行
高齢者ケアセンターゆらぎ	大澤 正明	むさしの苑	山川 奈津美
高齢者ケアセンターゆらぎ	村山 千夏	やまざくら	森谷 真理
翔寿苑	豊田 裕子	やまざくら	關根 沙織
翔寿苑	伊藤 由美		

## 平成26年度「公益社団法人埼玉県介護老人保健施設協会表彰」(特別)受賞者

施設名	氏名
いづみケアセンター	金子 遼

敬称略



# 第20回埼玉県介護老人保健施設大会

2月5日(木) 第20回埼玉県介護老人保健施設大会が例年通りソニックシティで開催されました。雪の予報の中、あいにくみぞれ交じりの天候でしたが、550人を超える参会者と、出展協賛企業関係者150名、合計700名ほどの参加を得て盛会のうちに進められました。今回は50名ほどの会員外の方も参加され、一般や大学・専門学校の学生の発表もありました。

開会式では、小川郁男会長から今回20回目の節目の大会という事で、これまでの大会の様子を振り返りながら大会の歩みを紹介されました。また地域に根ざした老健として地域の方と力を合わせて使命を果たすとの決意が述べられました。

来賓の埼玉県鈴木豊彦福祉部長からは「高齢者人口の爆発的な増加に備え、今後10年先を見据え、先取りした取り組みを進め、地方創生につなげる」とされ、「老健を運営する上でのノウハウは、地域包括ケアシステムを構築する上で大きく参考となる」と評価する上田知事のメッセージが紹介されました。埼玉県医師会湯澤俊副会長からは4月からの介護報酬改定の影響に触れ、今後の地域包

括ケアシステム構築への懸念が示されました。その上で、今大会で達成される「介護技術の研鑽・職員の資質向上」の意義を高く評価されました。

全老健東憲太郎会長からは年末に行われた介護報酬引下げ反対の署名活動と1月に開催した「介護を育くむ緊急全国集会」の様子が紹介され、埼玉県の取り組みが大きな力になったとお言葉を頂きました。また、4月の介護報酬改定に触れ、R4システムの活用が紹介されました。そしてこれからは在宅支援がキーワードになるとし、老健が在宅の方を支えると強調されました。

その後、別掲の永年勤続者67名・特別表彰として栄養職員でアスリートとして活躍する金子遼氏・介護百人一首優秀作品10名への会



小川埼玉老健会長



鈴木埼玉県福祉部長



特別表彰を受ける金子氏



謝辞を述べる齋藤氏



大会  
テーマ

# 「2025年に向けて」超高

長表彰が執り行われました。

続いて本年はじめて行われた3会場でのシンポジウムは「多職種で行うリハビリテーション」「超高齢社会と多死社会における高齢者の医療と介護の在り方」「災害に備える」のテーマで行われました。3会場のテーマは老健が抱え、これからの在り方を決める大事なものとして設定されました。いずれの会場もシンポジストの経験を踏まえた話に参加者は確かな手応えを感じたようです。

午後は41演題の口演発表と28演題のポスター発表（内一般3、学生9）で日常の実践を向上させる手がかりをつかんだ方も多く、有益だったとの感想が寄せられました。

最後に放送大学客員教授・癒しの環境研究会代表世話人の高柳和江先生による「笑匠と



湯澤埼玉県医師会副会長



東全老健会長

感動でケア現場が変わる」と題する基調講演が開講されました。「一日5回笑って5回感動する」ことの大切さが話され、生きる力を出すための笑いの効用を楽しくお伝えいただきました。会場いっぱい笑顔が広がり、さっそくその効果が表れました。

展示場では朝8時30分から午後3時まで、58社（広告のみ18社）の企業の協賛で最新の介護・医療情報が入手できました。

基調講演される高柳先生



参加者からは、実際に体験したり、実物を見たりする事により確かな情報が手にできるとの声がありました。直接企業から説明を受けた参加者からは有益な時間だったという喜びの声が届きました。来年の第21回大会は2月27日（土）同一会場での開催を予定しております。

## 優 秀 演 題

研修チーム活動報告

秋桜 藤橋 史子

下剤に頼らない排便を目指して

ハートランド桶川 高窪 雅和

しょうわにおけるアクティビティリハビリ

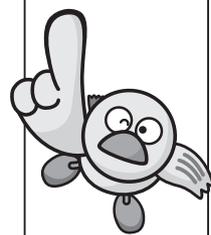
しょうわ 荻野 英雄

## 奨 励 賞

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けて行くための支援と課題

東洋大学 生活支援学科 浅野真友佳

# 介護老人保健施設 運営上の留意事項



埼玉県福祉部  
福祉監査課

1年間の実地指導で各施設にお伝えした内容をまとめました。ご活用ください。

## 人員に関する基準

### 1 人員配置

- 常勤職員の場合、有給休暇や出張は、その期間が暦月を超えない場合は、勤務した時間に算入できます。ただし、非常勤職員の場合は算入できません。
- 理学療法士等が、老健と通所リハビリテーションの業務を兼務している場合は、各々の勤務時間を分けて記録してください。

### 2 勤務体制（職員の健康診断）

- 夜間勤務を行う職員は年に2回、その他の職員は年に1回、健康診断を実施してください。
- (研修)
- 虐待防止、身体拘束、事故防止、感染症予防

## 運営に関する基準

### 1 サービス提供の記録

- 提供したサービス内容をなるべく詳細に記録することが、利用者等とのトラブル防止につながります。看護・介護記録は毎日記載してください。

- 夜間巡視についても、巡視した時刻が分かるよう記録してください。

### 2 身体拘束

- 「身体拘束廃止委員会」を設置するとともに、改善計画（身体拘束廃止マニュアル）を作成してください。拘束を行っていない場合

- については、毎年研修を実施してください。
- 事故防止及び感染症予防研修は年間2回以上実施してください。また、新規採用時にも必ず実施してください。
- 研修は、年間計画を立て、実施記録を残してください。

- 緊急やむを得ず身体拘束を行う場合、解除予定日は一律とせず、必要最小限の期間を設定してください。
- (初回は1ヶ月以内、延長の場合は3ヶ月以内を目安)
- 拘束開始日までに家族の同意を得てください。
- すぐに同意が得られない場合には、電話で同意を得た上で、同意日、説明者名、家族の氏名を説明書に記載しておいてください。
- 拘束の態様、時間、利用者の心身の状況及び緊急やむを得なかった理由を、医師が診療録に記載してください。(延長の場合も同様です。)

### 3 施設サービス計画

- 面接や診療情報等を基に、入居日までに暫定プランを作成してください。
- 利用者又は家族への同意は速やかに得てください。
- すぐに同意が得られない場合には、郵送や電話等で同意を得た上で、同意日、説明者

名、家族の氏名を計画書に記載しておいてください。

- 計画書を利用者、家族に交付する際は、第1・2表のほか、週間サービス計画表又は日課計画表も交付して下さい。(見直しの場合も同様です。)

- 定期的にモニタリング(評価)を実施し、計画の見直しを行ってください。
- 計画の作成、見直しの際は、サービス担当者会議を開催し、議事録を残してください。

## 4 非常災害対策

- 防災訓練は年2回以上実施し、うち1回は夜間を想定した訓練を行ってください。
- 防災訓練を実施した際は、結果報告書を作成し、不参加の職員にも周知して情報共有を図ってください。

- 防災設備点検を年2回実施してください。
- 倉庫等においてスプリンクラーの直下(下45cm以内、水平方向30cm以内)には、荷物を置かないでください。

- 非常用食料や飲料水を3日分程度備蓄してください。

## 5 衛生管理

- 汚物処理室やリネン室等において、清潔物と不潔物は必ず区分して保管してください。
- 害虫駆除を半年に1回以上、飲料水検査、貯水槽清掃を年1回実施してください。

- 検査は、マイナス20度以下の冷凍庫で2週間、1品50グラムを目安に保存してください。

- 厨房には清掃チェック表(毎日・週1回・月1回清掃等)を備え、記録を残してください。

- 循環式浴槽は、レジオネラ属菌の水質検査を年1回以上(毎日換水しない場合は年2回以上)実施してください。

補助タンク付きの機械浴槽も同様に水質検査を実施してください。

## 6 掲示

- 入口付近の見やすい場所に、運営規程の概要、従業員の勤務体制、協力病院、利用料、苦情窓口、その他の重要事項の概要を掲示してください。

※苦情窓口は、市町村及び埼玉県国民健康保険団体連合会です。

## 7 苦情処理

- 苦情はサービスの質の向上を図る上での重要な情報であるとの認識に立ち、苦情や要望は報告書を作成し、申し送りや全体会議等で周知するなど、職員間での情報の共有に努めてください。

## 8 事故防止

- 骨折や入院以上の事故が発生した場合には、

事故報告書・再発防止策を市町村(保険者)・県福祉事務所へ提出してください。

※様式は、埼玉県ホームページで、「老健 危機管理」で検索し、「埼玉県介護老人保健施設危機管理マニュアル」から使用してください。

### (誤嚥防止)

- 誤嚥しやすい食品を提供する際は、看護・介護部門と厨房で協議の上、食形態に合わせてカット等をした上で提供するように努めてください。

● 急な誤嚥に備え、食堂付近に吸引器を設置するよう努めてください。

### (入浴)

- 入浴サービスについては、常に事故の危険性があること、たとえ短時間であっても職員が目を見守ることは重大な事故につながるおそれがあることを日頃から十分認識しておいてください。

- 利用者の入浴中は複数の職員を配置し、職員の見守りがなくなる時間はないか再確認してください。

- 機械浴槽の操作方法について、新規採用職員や経験の浅い職員に対しては研修を実施してください。

- いつでも再確認できるよう、浴室に機械浴槽の取扱説明書を備えてください。



埼玉県のマスコット  
コバタン

# いきいき 施設紹介

介護老人保健施設

## 川口メディケアセンター

〒333-0833 埼玉県川口市西新井宿923-1  
TEL 048-286-3300 FAX 048-286-3301  
利用料 多床室：92床 従来型個室：18床  
ユニット型個室：40床



平成26年8月1日に介護老人保健施設として開設いたしました。1階は40床の認知症専門フロア、2階は70床の一般フロア、3階は40床のユニット型フロアとなっております。

桐和会理念【ご本人様本位】【優しい心と笑顔】【ありがとうございます！という感謝の気持ち】でサービスを提供いたします。

在宅復帰・自立支援をめざし、医師・看護・リハビリ・介護が「まごころ」をもって連携し支援いたします。

敬老会・クリスマス会・節分・外出などイベントを実施し、利用者様に楽しんでいただけるよう努めております。

開設して間もないですが、やる気のあるスタッフが日々、より良い介護を目指し切磋琢磨しています。

介護老人保健施設

## はーとぴあ

〒345-0824 埼玉県南埼玉郡宮代町字山崎472  
TEL 0480-36-2122 FAX 0480-36-3225  
利用料 多床室：52床 従来型個室：8床  
ユニット型個室：20床



光庭でのコンサート

当施設は、平成21年5月1日に開設しました。入所及び短期入所併せて80名、通所リハビリテーション40名の受け入れとなっております。

シンボルツリーが映える光庭は、屋上までの吹き抜けとなっております。四季を通して、建物の隅々にまで明るい陽光を導きます。

高齢者の方々に安心して生活して頂けるように、医学的管理の下、看護・介護・リハビリテーション、その他日常生活のお世話等、総合的なサービスの提供をさせて頂いています。

「地域に密着した明るい施設で、心を込めた介護」をモットーとする私たちとの生活を楽しく過ごせるような施設運営を心掛けてまいります。施設入所、通所リハビリテーションの見学は随時お受けしております。どうぞお気軽にお声掛け下さい。ご利用を心からお待ち申し上げます。

介護老人保健施設

## つつじの郷

〒351-0002 埼玉県朝霞市下内間木1363-1  
TEL 048-458-1117 FAX 048-456-0661  
利用料 多床室：12万円前後（28床）  
従来型個室：17万円前後（72床）



「医療と介護の架け橋」をコンセプトに、平成17年7月1日に「つつじの郷」を開設しました。定員は入所短期合わせて100名、併設の通所リハビリテーションは一日40名の受け入れが可能です。個室が7割以上を占めており、利用者様のプライベートな空間と時間が保たれるよう配慮しております。

自然環境に恵まれた立地で、居室の窓からは秩父連山や富士山の眺望です。当施設では職員一同「笑顔・優しさ・思いやり」を常に心がけ、利用者様が穏やかで安心な生活をして頂けるよう誠心誠意努めております。ご利用を心からお待ちしております。

医療法人財団明理会 介護老人保健施設

## イムスケアふじみの

〒356-0045 埼玉県ふじみ野市鶴ヶ岡5-6-58  
TEL 049-256-6250 FAX 049-256-6256  
利用料 多床室：120床  
従来型個室：30床



当施設は、平成18年10月に全国展開をしている板橋中央総合病院グループの介護老人保健施設としてオープンした施設です。一般棟2フロア（100床）、専門棟1フロア（50床）、入所サービス・短期入所サービスと通所リハビリテーション（49名）を提供しております。

協力医療機関として近隣にイムス三芳総合病院、イムス富士見総合病院、などがあり、心強い協力体制で皆様をケアいたします。

見晴らしの良い緑豊かで閑静な環境の中で、今後も、地域に密着した施設として地域の多様化するニーズに応えられるよう取り組んでいきます。



昨年末に政府地震調査委員会が公表した2014年版「全国地震動予測地図」では今後30年以内に震度6弱以上の揺れが起きる確率が上昇したことが伝えられました。埼玉県内では春日部市が77%と最も高く、幸手市72%、川口市69%、越谷市64%、さいたま市51%と県東南部を中心に各市町村で大きな被害が想定されます。さらに、昨冬の百年に一度と言われる大雪や、竜巻・局地的な集中豪雨など災害への備えは喫緊の課題です。

介護老人保健施設はご利用者の命を預かるという重大な使命を帯びています。

今、各施設とも少しずつ備えを進めてはいますが、万一に備えることにこれで十分と言う事はありません。しかし底なしに備えを拡大する事も出来ないのが現実です。

今年度、埼玉保健協会ではこの災害対策を重点事業に取り上げ、災害対策委員会を開催し、施設での災害対策を検討してきました。昨年11月

にはこの成果を伝える研修会を開催しました。各施設では業務継続計画を中心に災害対策を進めているところです。また2月の埼玉保健大会では「災害に備える」と題し、シンポジウムも開催しました。

今回はこれらの成果を踏まえ、個人で、そして各施設で備える方策を具体的に提案します。

基本はまず自分の命を自分で守ることです。三陸地方で語り伝えられた『津波でんご』はその精神でしょう。個人が各家庭で進めるのもこれが基本になります。

## I 命を守る自助の取り組み (埼玉県危機管理部資料による)

災害対応は、まずは「自分の命、安全は自分で守る」ことが重要です。しかも「災害対応は

日ごろ、やっている事しかできない」と言われています。日常的な心構えや対策が大きな効果を発揮するのです。自分の命を守るために3つの取り組みをしましょう。

### ① 家具の固定

首都直下型地震の被害イメージと近い阪神・淡路大震災では死者数は6434人に及び、死者の80パーセント以上が家屋の倒壊や家具等の転倒による圧迫死だそうです。自分の命、安全は自分で守る。ためには、まずは家具や家電製品の固定をし、転倒による圧迫死を防ぎましょう。

### ② 3日分の水・食料の備蓄

災害発生直後は、支援物資が届くまで時間がかかることを想定し、最低3日分(できれば1週間分)の水と食料を備えておきましょう。

保存性の良い食料品を少し多めに「買い置

き』し、その備蓄（ストック）した食料品を、日常的に食べて、食べた分を買い足す「ローリングストック」が無駄なく有効です。

### ③ 災害伝言サービス

一番の気掛かりは家族の安否です。災害発生直後は、電話がつながりにくい状態となるため、家族の安否を確認するには「災害用伝言サービス」を活用することが有効です。あらかじめ家族で連絡方法を決めておき、日頃から体験しておきましょう。

## Ⅱ 施設としての取り組み

多数の命を預かる施設としてはその使命を果たすために周到な準備が必要になります。この取り組みは出来ることから少しずつ進めることが肝要です。

### ① 自施設の立地特性を把握し、災害想定・被害想定をし、対策を進める。

各市町村のハザードマップ等をもとに自施設周辺にどのような災害が発生するか想定しましょう。

さらに災害想定をもとに自施設・設備を点

検し、被害状況を想定しましょう。地震・水害・風・雪害等地域や立地条件によりさまざまな想定が考えられます。それぞれに対策を考え、行動計画を作成しましょう。

中心はご利用者の命と安全です。

### ② 職員の安否確認と人員の確保をする

老健は職員が宝です。職員なくして老健は成り立ちません。まずは職員の安否確認を進め、勤務体制を確立する必要があります。連絡方法、勤務体制等あらかじめ計画を明確にしておきましょう。

### ③ 業務継続計画（BCPPプラン）を作成する

災害時に混乱しないためにはあらかじめ業務をどのように展開するか具体的に計画しておくことが肝要です。被災時から通常業務を再開するまでの行程を具体的に体系化しておきましょう。

### ④ 災害備蓄品を調える

水・食料は個人の項で取り上げた一人あたり1人の備蓄品が基本になります。施設となるとご利用者、職員の人数分が必要になります。また、ご利用者の状態に合わせ、対応した食形態の食品がなければなりません。

衛生用品や薬品の備蓄も欠かせません。通常の在庫を積み増しし、3日分から7日分くらいを目安にランニングストックとして常に

新しくしていくことが有効です。日頃は電話一本で対応できるものでも、その電話すらつながらなくなるのです。

施設・設備の損壊も想定しましょう。代替えの方法、復旧に要する道具やその方法など従来なら業者任せにしていることも地震では応急措置する必要があります。ペストが無理でもベターな方法をとるしかありません。そのため備品・消耗品をあらかじめ備蓄しておく必要があります。日常使用している物品を上手に使いまわす方法は有効です。

### ⑤ 各種情報の活用と管理を進める

ご利用者のケアプランをはじめとして災害時でもその記録はケアを決める重要な役目を果たします。災害時は電源喪失や施設内事務機器の転倒等混乱が予想されます。災害時どのような障害が発生するか想定し、そのバックアップが速やかに活用できれば混乱は防げます。一方で、個人情報管理はどんなときにもおろそかにできないものです。事前に想定しておくことにより対応に齟齬が発生しないようにできるでしょう。

### ⑥ トップがリーダーシップを発揮する

組織の円滑な展開には指揮命令系統の確立が欠かせません。日頃から組織を明確にし、それを機能させて効果を実感させておくこと

公益社団法人  
埼玉県介護老人保健施設協会

平成26年度

## 1年間の歩み

6月12日(木)

第3回定期総会・施設長管理者等研修会  
「地域包括ケアとリハビリテーション」

霞ヶ関南病院 理事長 斉藤正身先生



9月18日(木)、  
25日(木)、  
10月3日(金)  
埼玉県議会  
公明党・民主党・  
自民党議員との  
意見交換会



9月20日(土)  
第18回親善バレー  
ボール大会  
(24施設 352名参加)  
優勝  
はなぶさ  
準優勝  
トワーム指扇



11月11日(火)  
第11回彩の国  
老健ひろば  
(250名参加)  
さいたま市  
浦和コミュニティー  
センター



11月27日(木)  
災害対策研修会  
(70名参加)  
さいたま市  
文化センター



1月8日(木)  
「介護を育む  
緊急全国集会」  
県下から集まった  
34,000人の署名に  
目を通す小川会長

2月5日(木)

第20回埼玉県介護老人保健施設大会

### ⑦ 地域の災害拠点としての準備

東日本大地震では地域の住民の避難先として大きな働きをした施設がいくつも報告されています。

また、その時その時で人員構成は変わるのでいつでも代わられる体制を整えておく必要があります。

常組織的に活動するためにも指揮命令系統を明確にしておく機会を増やしたいものです。

ています。老健が日ごろ多職種協働という事でその機能が地域に認知されていた結果でしょう。医療・介護はもとより、食事、生活とすべてにわたり対応できると思われるからです。

日頃から災害拠点になる事を考えておく。万一の時、混乱が防げます。医療・介護の必要な人に福祉避難所として対応するのはもちろん、それ以外の方にも必要な事、出来る事を提供することになります。その際、地域の方をボランティアとして受け入れ、職員と共に業務を進めるといふ事が有効な方法でしょう。そのためにもあらかじめ体制を整える必

### ⑧ 多様な設定で訓練を重ねる

要があります。日頃のボランティアの受け入れがその基となりましょう。

備蓄品等もできる範囲で広げましょう。

非常時への対応はあらかじめ準備しておくことで格段に向上します。事前に用意したマニュアルに基づき、訓練しましょう。

机上訓練、部分訓練等設定を変え、少しずつ参加する人を変え、何回も繰り返し、定着を図りましょう。繰り返しすることで課題も見つかり、改善が進められます。

## 埼玉老健介護百人一首優秀歌

元氣よくはじける笑顔でおはようと時計の針は深夜二時すぎ

岩崎 さわ子 (上福岡リハケアセンター)

### 小谷あゆみ賞

親思う子等の気持ちに汲み取りて母は施設の気楽さ語る

内田 三千則 (いづみケアセンター)

かみ合わせに疲れあきらめて笑顔頼りの診察となる

久保 康人 (いづみケアセンター)

声までも奪われ空切る父の手を笑み浮かべつつ母は乳房へ

境野 明美 (ハートケア東大宮)

癒そうと思う気持ちが癒されてはじめて気づく百年の言葉

鈴木 明子 (いづみケアセンター)

聞こえない知らない忘れた悪知恵か全部バツチりまだまだ負けぬ

高柳 雅一 (愛)

くるまいすやつとこぎゆき我が母はなにを祈るや富士を拝みて

眞嶋 貞男 (春陽苑)

もう一度逢って御小言聞きたくて毎日空を見上げています

丸本 春代 (いづみケアセンター)

挨拶と楽しい会話それだけで距離が縮まる介護の現場

山口 絵史 (上福岡リハケアセンター)

デイケアのチイチイパッパに馴染めずに群れを離れてひとり本読む

吉田 昇 (鶴ヶ島ケアホーム)

(五十首順)

## ねたきり<sup>ゼロ</sup>への10か条

- 第1条 脳卒中と骨折予防  
ねたきり ゼロへの第一歩
- 第2条 ねたきりは ねかせきりから作られる  
過度の安静逆効果
- 第3条 リハビリは早期開始が効果的  
始めようベッドの上から訓練を
- 第4条 暮らしの中のリハビリは  
食事と排泄、着替えから
- 第5条 朝起きて、まずは着替えて身だしなみ  
寝・食分けて生活にメリハリ
- 第6条 「手は出し過ぎず目は離さず」が  
介護の基本 自立の気持ちを大切に
- 第7条 ベッドから移ろう移そう車椅子  
行動広げる機器の活用
- 第8条 手すり付け 段差をなくし 住みやすく  
アイデアいかした住まいの改善
- 第9条 家庭でも社会でも 喜び見つけ  
みんなで防ごう閉じ込めり
- 第10条 進んで利用 機能訓練 デイ・サービス  
寝たきりなくす人の和 地域の和

### 編集後記

昨年9月から吹き始めた介護業界への逆風。早速埼玉から始めた署名活動の風は全国に広がり142万筆の大きなうねりとなり、1月8日の「介護を育む緊急全国集会」へとつながった。しかし2月にはマイナス2・27%の介護報酬となった。今回はリハビリを筆頭に様々な改定が入る。想定された方向とはいえ、そのたびに振り回される気がする。介護業界をリードする老健が、明日の介護の方向を強く打ち出す気概が必要なのかもしれない。(田中 哲)



公益社団法人 埼玉県介護老人保健施設協会

(事務局) 〒350-2213 埼玉県鶴ヶ島市脚折1877番地

介護老人保健施設 鶴ヶ島ケアホーム内

TEL. 049-285-5055 FAX. 049-271-5124

URL: <http://saitamaroken.jp/> E-mail: [sairoken@manjyukai.or.jp](mailto:sairoken@manjyukai.or.jp)

毎月15日は いい介護 老健の日  
利用者の幸せサポート 埼玉老健